

専修大学 喜多方市地割行政区

チーム名

専修大学 商学部 渡邊隆彦ゼミナール



1.地割行政区の印象と捉えた課題

※実際に地区にうかがって抱いた印象

- ・ 自然豊か
- ・ 夏は涼しく、冬は寒過ぎる
- ・ 自然豊かで普段できないことができる（デジタルデトックス）
- ・ 集落内全体で協力している
- ・ 親切さがある
- ・ 車が必須

※地区を見学し、地区の皆さんと話をした上で捉えた課題

- ・ アクセスの悪さ
- ・ 集落の方々全員が今後の集落に対する指針のベクトルが同じ方向を向いていない
- ・ 冬は何もできない



2.今年度の活動内容

知る・体験する

活動具体例

- ・地割集落住民の方々にインタビュー
- ・ニジマス釣り
- ・地割集落住民の方々と食事
- ・インタビュー結果をもとに訪問メンバーと話し合い
- ・現地調査結果を報告&施策提案
- ・みしらず柿作り
- ・蕎麦打ち体験
- ・雪囲い体験
- ・ナメコ採集







3.課題解決のための提案、考察



集落の方針：移住者を増やす ×



集落の方針：地域に戻ってくる人を増やす、
または戻ってくる頻度を増やす ○

イベント開催

Ex.蕎麦打ち体験



4. 今後に向けて

秋頃（10月～11月）に新しくイベントを企画

- ・ 他の集落の産業やイベント内容を聞き、今後のイベントを行う
- ・ 小学校・公民館などに資料を用意、関係者への電話にて動員
- ・ 地元の作物・歴史を絡める

冬にできることを探す